

10年ビジョン元年予算

住宅都市『杉並』のさらなる発展に向けて
平成24年度

当初予算(案)の事業概要



なみすけ © SUGINAMI CITY



10年ビジョン元年予算

- 住宅都市『杉並』のさらなる発展に向けて -

目次

新たな杉並区基本構想について	1
平成24年度予算の基本的な考え方	3
各会計当初予算規模	5
主な事業	7
1 防災関連施策	7
・震災救援所周辺及び緊急道路障害物除去路線沿いの不燃化を推進	
・狭あい道路拡幅と電柱のセットバック	
・災害時子ども安全連絡網の整備	
2 まちづくり関連施策	9
・荻窪駅周辺都市再生事業の推進	
・新たな地域交通システムの調査・検討	
・(仮称)産業振興センターの設置と産業支援の環境整備	
・(仮称)杉並若者就労支援センターの設置と就労支援・雇用促進	
3 東京電力総合グラウンドの取得・活用	11
4 福祉関連施策	12
・(仮称)次世代育成基金の運営	
・要介護高齢者の住まいと介護施設の整備	
5 教育関連施策	13
・適応指導教室の開設	
・全ての小・中学校に学校司書を配置	
6 区制施行80周年記念の事業	14
・区制施行80周年記念式典等	
・健康長寿モニター事業	
・スポーツ交流事業	
・中学生小笠原自然体験交流	
その他の事業	1

新たな杉並区基本構想について

東日本大震災を教訓に住宅都市杉並のさらなる発展に向けた 新たな基本構想（10年ビジョン）

杉並区基本構想（10年ビジョン）を議案として提出

都市計画の第一人者である伊藤 滋早稲田大学特命教授を会長とする基本構想審議会の答申を受け、第一回区議会定例会に議案として提出します。

杉並区の目指す将来像

基本構想（案）は、東日本大震災の教訓を踏まえ、住宅都市杉並の将来像を次のとおりとしています。

支えあい共につくる 安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

基本構想の理念

10年後を見据えた基本構想の策定にあたっては、次の三つをその理念としました。

- 安全・安心を確保する
- 住宅都市杉並の価値を高める
- 支えあい共につくる

5つの目標と取組

将来像を実現するための5つの目標を次のとおり設定しました。

目標1 災害に強く安全・安心に暮らせるまち

倒れにくく燃えにくい、防災住宅都市づくりや、いざというときの災害時要援護者への支援に取り組みます。

目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち

荻窪駅周辺や、区内の各「駅」を中心とした多心型まちづくり、誰もが移動しやすいまちづくりを進めます。

目標3 みどり豊かな環境にやさしいまち

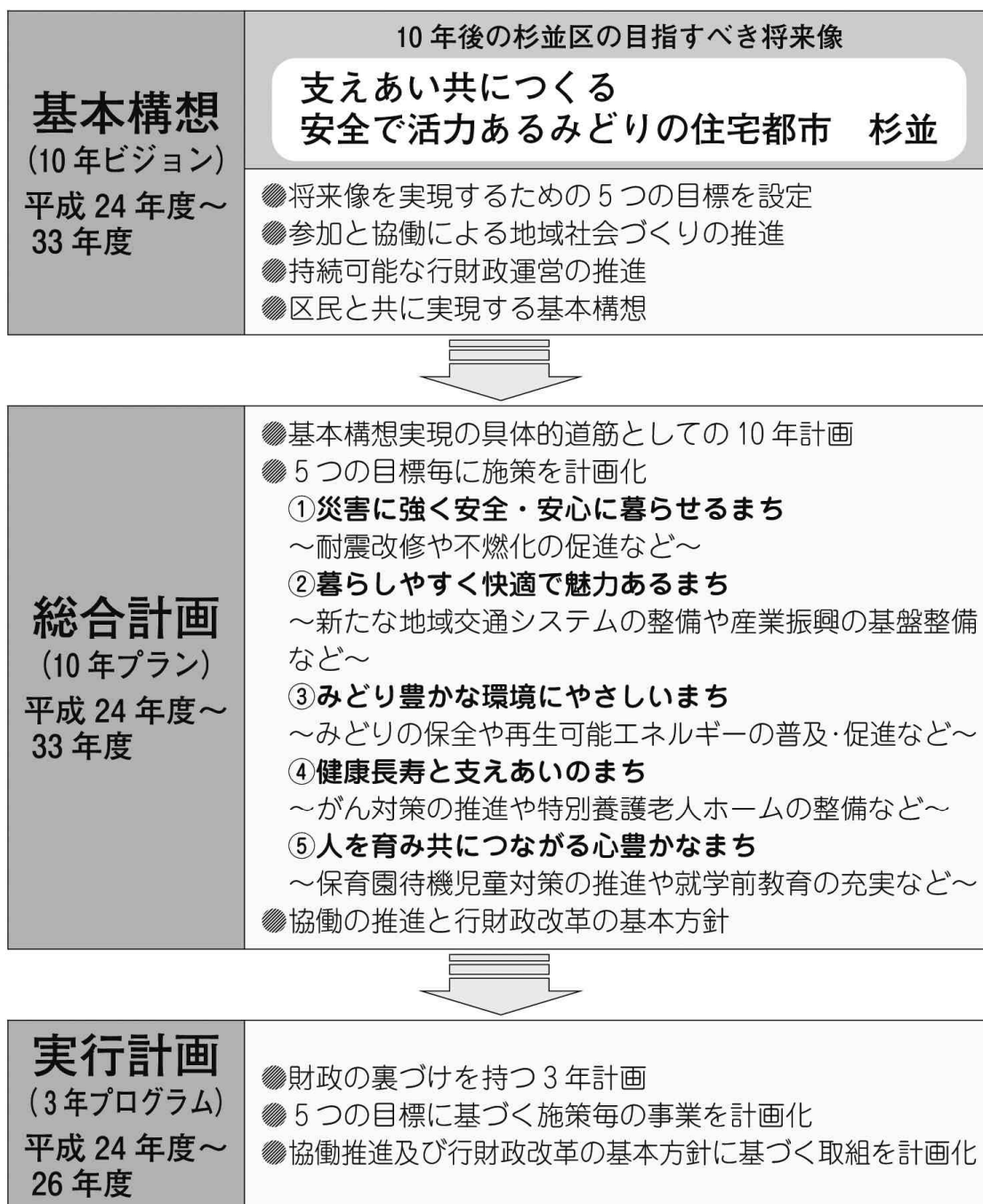
再生可能エネルギーの活用などによる環境住宅都市づくり、みどりの拠点整備とネットワークづくりに取り組みます。

目標4 健康長寿と支えあいのまち

地域で孤立することのない仕組みづくりや、安心の在宅生活を支える医療・介護基盤の整備に取り組みます。

目標5 人を育み共につながる心豊かなまち

子どもの成長と学びへの切れ目のない支援や、文化・芸術や生涯学習・スポーツの基盤と環境の整備に取り組みます。



平成24年度予算の基本的な考え方

予算編成の基本的考え

新たな基本構想・総合計画を具体化する予算

平成24年度は、住宅都市「杉並」のさらなる発展に向けて新たな基本構想及び総合計画がスタートする極めて重要な年となります。

こうした認識に立って平成24年度予算を「10年ビジョン元年予算」と位置づけました。

東日本大震災を教訓に「安全・安心」「少子高齢化」「まちづくり」に重点配分した予算

基本構想が掲げる10年後の杉並区の将来像である、「支えあい共につくる安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並」の実現に向けた5つの目標を達成していくため、「安全・安心」「少子高齢化」「まちづくり」の分野に予算の重点配分を行いました。

厳しい経済状況の中で持続可能な財政運営を目指す予算

防災まちづくりや少子高齢化に向けた対応など、行政需要が大きく増大していく中で、今後も区民が求める質の高いサービスを適切に提供していくためには、財政の健全性を確保しつつ、持続可能な財政運営を行っていく必要があります。

このため、区では次の5つのルールに基づく財政運営に努めます。

< 財政健全化と持続可能な財政運営を確保するためのルール >

- 1 経常収支比率について80%以内を目指します。
- 2 歳入歳出の決算剰余金が生じた場合に、当該剰余金の2分の1以上を財政調整基金に積み立て、今後の行政需要や災害対策に活用していきます。
- 3 金利動向等を見据え、繰上償還を行い、公債費の軽減に努めていきます。
- 4 基金と区債をバランス良く活用して必要なサービスを持続的に提供していきます。
- 5 区債は、原則として赤字区債を発行せず、建設債の発行にあたっては、財政状況を踏まえつつ、必要性を十分検討して行います。

減税基金条例は廃止します

平成22年3月に制定した「杉並区減税基金条例」については、東日本大震災を教訓に、まちの耐震化、不燃化など、安全・安心の確保に緊急に取り組むこと、また、少子高齢化の対応など、今日区に求められていることから、将来の減税を目的としてあらかじめ毎年予算の一定額を積み立てる減税基金は、廃止することとしました。

第1回区議会定例会に条例廃止を提案します。

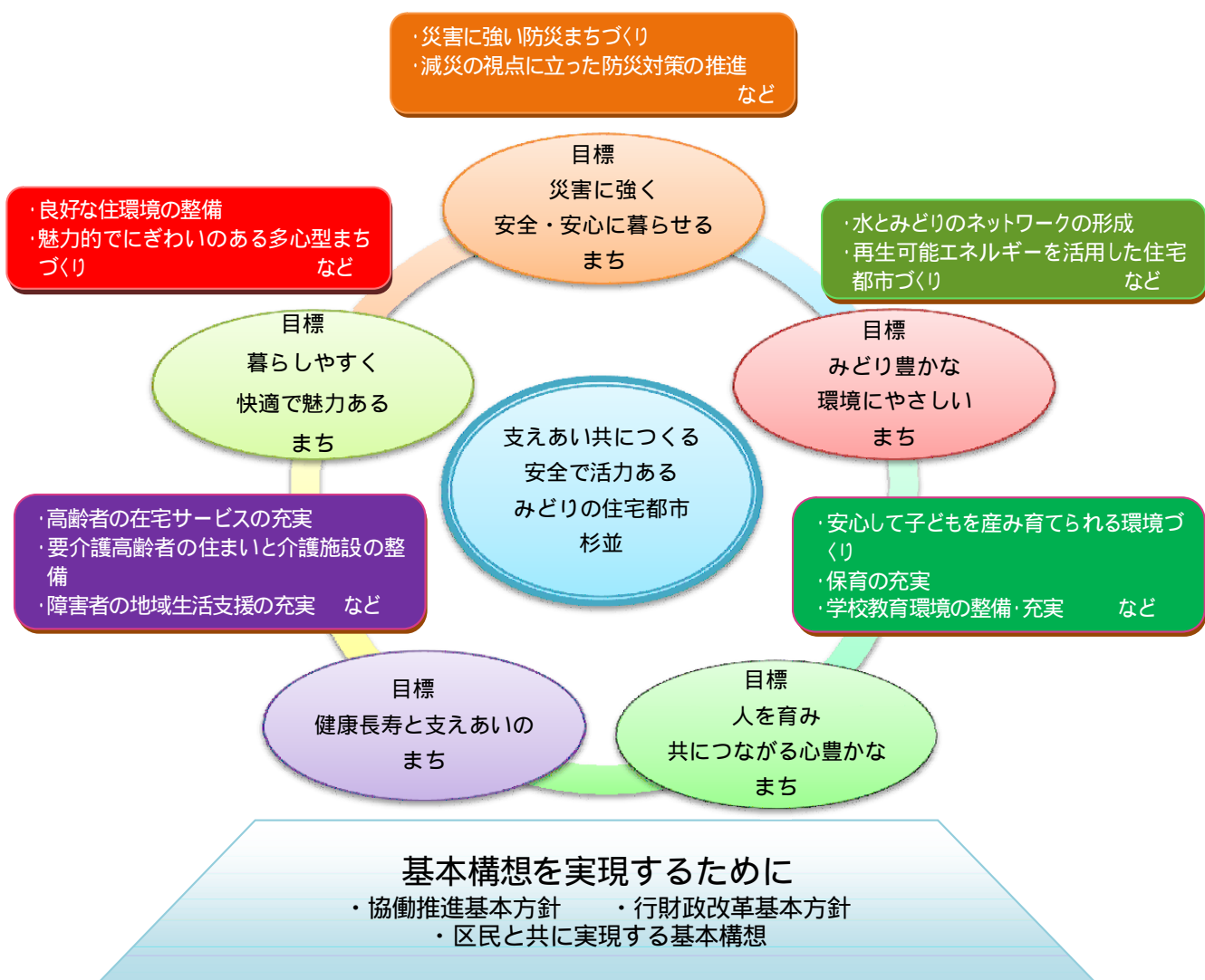
なお、減税基金のこれまでの果実は子ども・青少年の健やかな成長に役立てる（仮称）次世代育成基金として活かしてまいります。

12頁参照

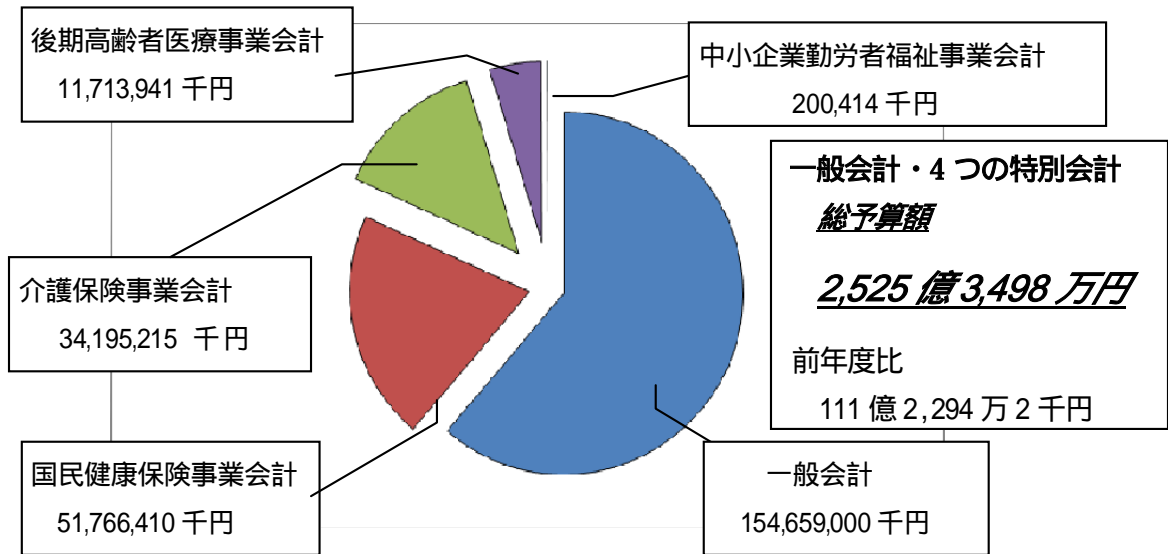
平成24年度の予算の位置づけ

10年ビジョン元年予算

— 住宅都市『杉並』のさらなる発展に向けて —



各会計当初予算規模



一般会計 1,546億5,900万円 (前年度比 58億5,200万円、3.9%の増)

増となった要因は、職員人件費の減や公債費の減はあるものの、公園等の整備(東京電力総合グラウンドの用地取得)などの投資事業の増などによるものです。

特別区民税は経済状況の悪化などによる所得の減や納税義務者数の減など減収要因はあるものの、税制改正による年少扶養控除の廃止などの影響を見込むとともに、財政調整交付金、配当割交付金や地方消費税交付金などの実績を踏まえ微増と見込み、公園等の整備など7事業での特別区債(建設債)の発行や基金を活用し、予算を編成しました。

国民健康保険事業会計 517億6,641万円 (前年度比 12億1,313万1千円、2.4%の増)

介護保険事業会計 341億9,521万5千円 (前年度比 30億6,076万6千円、9.8%の増)

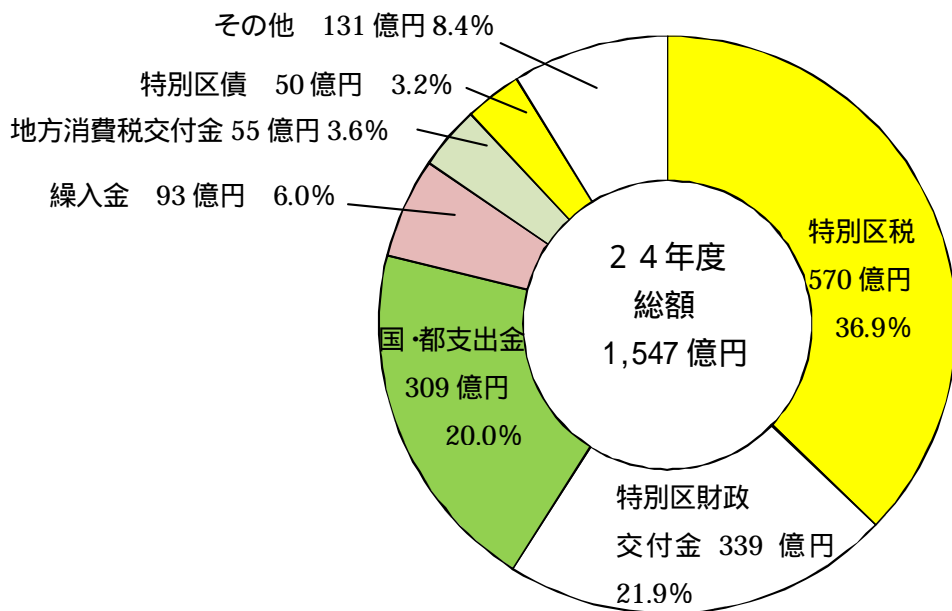
後期高齢者医療事業会計 117億1,394万1千円

(前年度比 7億9,663万1千円、7.3%の増)

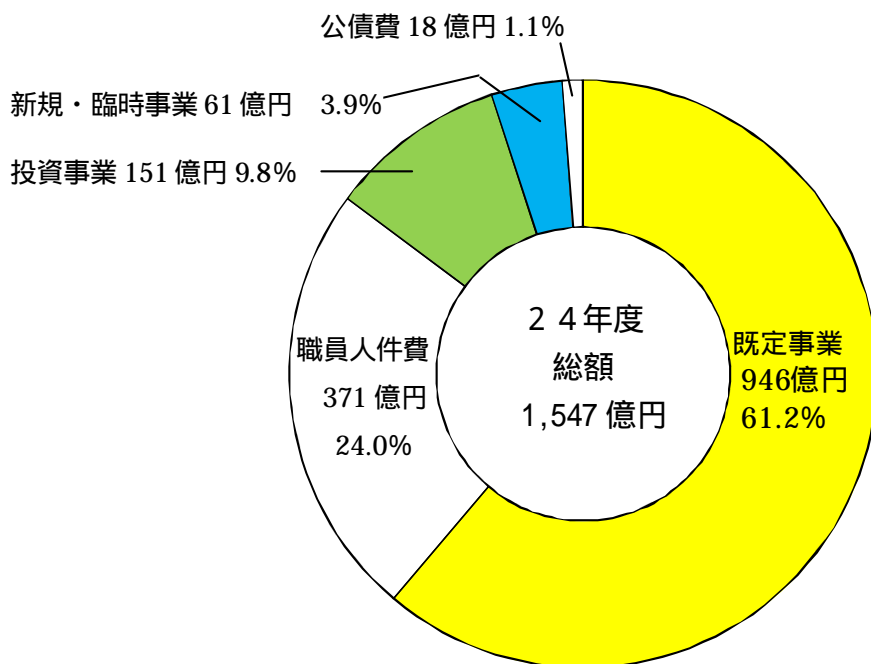
中小企業勤労者福祉事業会計 2億41万4千円 (平成24年度から新たに設置する特別会計で、平成23年度末に解散する財団法人杉並区勤労者福祉協会で行っていた中小企業勤労者福祉事業を引き継ぐもの)

平成 24 年度 歳入と歳出

1 一般会計 歳入



2 一般会計 歳出



主な事業

～ 倒れにくく燃えにくい防災まちづくりを強力に推進します

1 防災関連施策

【目標1 災害に強く安全・安心に暮らせるまち】

【目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち】

震災救援所周辺及び

緊急道路障害物除去路線沿いの不燃化を推進

(1億3,030万円)

今後、高い確率で発生すると予測される首都直下地震などの大地震から区民の生命と財産を守るため、災害時に倒れにくく燃えにくい防災まちづくりを推進することは最重要課題の一つです。

災害時に震災救援所となる区立小・中学校周辺や緊急輸送道路から震災救援所に至るまでの緊急道路障害物除去路線（震災時に、緊急車両の通行を確保するため、倒壊家屋等の障害物を優先的に除去する路線）沿いの不燃化建替の一部を助成し、不燃化を推進します。

- ・ 不燃化建替助成 100棟
- ・ 助成金額
 - 耐火建築物 250万円
 - 準耐火建築物 100万円



震災救援所

【問合せ先】都市整備部 まちづくり推進課 3312-2111（内線3361）

狭あい道路拡幅と電柱のセットバック(5億1,693万円)

建物の建て替えや増改築を行う際に、防災性の向上を図るため、建築主や関係権利者の承諾を前提に、建物や門・塀等の後退により、法令で定められた4メートルの道幅まで道路を拡幅整備します。後退部分の塀などの撤去費用の一部の助成、舗装などの整備を行います。

災害発生時に支障となる電柱について、区民・事業者の協力を得ながら移設を進めていきます。

- ・拡幅整備を要する延長距離 約664km(22年度末161km整備済)



移設前



移設後

【問合せ先】都市整備部 土木管理課 3312-2111(内線3471)

災害時子ども安全連絡網の整備(1,529万円)

東日本大震災の教訓を踏まえ、学校、保育園、子供園、幼稚園、学童クラブと、保護者等が発災・危機管理情報を共有できるよう、情報発信を行うため、「災害時子ども安全連絡網」を整備し、事前に登録した保護者等のメールアドレスに、一斉送信をします。



【問合せ先】教育委員会事務局 庶務課 3312-2111(内線1601)
保健福祉部 保育課 3312-2111(内線1371)
保健福祉部 児童青少年課 3393-4760

～魅力的でにぎわいのあるまちづくりに着手します

2 まちづくり関連施策

【目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち】

荻窪駅周辺都市再生事業の推進（1,631万円）

荻窪駅は区内最大の交通結節点であり、区の中心的な拠点ですが、南北地域間の分断や駅前広場が必ずしも十分ではないことなどの課題も抱えています。

荻窪駅周辺地区について、地域の活性化や生活利便性の向上を図るため、区民が主体となった「(仮称)荻窪まちづくり会議」を設置し、「住宅都市杉並」に相応しいまちづくりを進めていきます。



スケジュール(予定)

- 平成24年4月～ (仮称)荻窪まちづくり会議の設立及び運営支援
- 6月～ 荻窪まちづくり将来構想の検討・策定支援
- 9月 まちづくりコンペ・シンポジウムの実施

【問合せ先】都市整備部 都市再生担当課 3312-2111（内線3381）

新たな地域交通システムの調査・検討（187万円）

誰もが移動しやすいまちづくりを目指して、ワゴン型車両の活用などによる新たな地域交通システムの整備について調査・検討を行います。

スケジュール(予定)

- 平成24年4月～ 新たな地域交通システムの整備について調査・検討

【問合せ先】都市整備部 交通対策課 3312-2111（内線3551）

(仮称)産業振興センターの設置と産業支援の環境整備

(1億1,447万円)

うち、(仮称)産業振興センターの設置 (1億436万円)

区産業振興部門や区内産業団体(東京商工会議所杉並支部、杉並産業協会、杉並区商店会連合会)が同じスペースの中で日常的に情報交換や議論を行い、実効性の高い産業振興施策を構築、実施していくため、「(仮称)産業振興センター」を設置します。

また、区内産業の活性化を図るため、「産業振興計画」を改定するとともに、「(仮称)中小企業振興基本条例」を策定するなど、区内産業全分野にわたる基盤を整備します。

(仮称)産業振興センター



・所在地 上荻1丁目2番1号(インテグラルタワー内)

・設置予定 平成24年5月

【問合せ先】区民生活部 産業振興課 3312-2111 (内線3071)

(仮称)杉並若者就労支援センターの設置と

就労支援・雇用促進 (1,229万円)

うち、(仮称)杉並若者就労支援センターの設置 (1,000万円)

20代、30代の若者を中心に就労相談から定着までを一貫して支援していく「(仮称)杉並若者就労支援センター」を設置します。また、就職への視野を広げるためのプログラムや就職活動のアドバイスなど、個々の状況に応じたカウンセリングを行います。さらに、ハローワークとの連携により、区内で就労相談や求人紹介を行うとともに区内の中小企業をPRし、若者の区内就労を促進します。

(仮称)杉並若者就労支援センター

・所在地 阿佐谷南3丁目2番19号(産業商工会館内)

【問合せ先】区民生活部 産業振興課 3312-2111 (内線3071)

～ みどり豊かな住環境と防災上の貴重なオープンスペースとして

3 東京電力総合グラウンドの取得・活用（60億円）

【目標3 みどり豊かな環境にやさしいまち】

「杉並区みどりの基本計画」に基づき、公園や緑地の整備を進め、みどりの総量増を目指しています。また、地域や規模ごとに機能を分散しながら公園を適切に配置し、まちのみどりの確保と防災性の向上を推進しています。

「杉並区まちづくり基本方針」では東京電力総合グラウンド周辺を「防災拠点となるみどりの核づくりを進める地域」と定めていますが、当該地のある方南和泉地域には1ha以上の地域公園がありませんでした。

東京電力総合グラウンドをみどり豊かな住環境と防災上の貴重なオープンスペースとなる公園として整備するため、用地取得を行います。

(1) 用地の概要

住所 下高井戸2丁目28番23号

面積 約4.3ha

(2) スケジュール(予定)

平成24年7月～用地取得、現地調査
有効活用の検討

(3) 予算

用地取得費 60億円



【問合せ先】都市整備部 みどり公園課 3312-2111（内線3571）

～ 少子高齢化に対応するために



4 福祉関連施策

【目標4 健康長寿と支えあいのまち】

【目標5 人を育み共につながる心豊かなまち】

(仮称)次世代育成基金の運営 (6,036万円)

次代を担う子ども・青少年の健やかな成長を図ることは、これまで以上に必要とされています。

その要請に応えるため、子ども・青少年に、国内外の自治体との交流や、スポーツ、文化・芸術等の事業への参加の機会を提供し、その体験を通じて健やかな成長を図ることを目的とする、「(仮称)次世代育成基金(5,000万円)」を創設します。

なお、基金には、廃止する杉並区減税基金の果実を活用するとともに、基金の目的を区民等に広くお知らせし、寄附をお願いしてまいります。

・平成24年度 「(仮称)次世代育成基金」の設置

【問合せ先】保健福祉部 児童青少年課 3393-4760

要介護高齢者の住まいと介護施設の整備(5億1,172万円)

高齢化に伴い、一人暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯、また要介護高齢者の増加が想定されています。

特別養護老人ホームなど入所施設の整備を重点とし、あわせて住み慣れた地域での生活を支える認知症高齢者グループホームの整備を行います。

また、介護が必要になっても安心して住み続けられる住宅を確保するため住宅施策と連携して杉並型サービス付き高齢者向け住宅の整備を進めます。

- ・ 杉並型サービス付き高齢者向け住宅
- ・ 特別養護老人ホーム等の建設助成
- ・ 認知症高齢者グループホームの建設助成
- ・ 介護老人保健施設の建設助成



【問合せ先】保健福祉部 高齢者施策課 3312-2111 (内線 3231)

～一人ひとりに応じたきめ細かな教育を目指します

5 教育関連施策

【目標5 人を育み共につながる心豊かなまち】

全ての小・中学校に学校司書を配置(9,608万円)

区立小・中学校の図書館について、児童・生徒の読書習慣を培う「読書センター」として、また、学習活動を支える「学習情報センター」としての機能を充実させるために、蔵書点検や読書相談、調べ学習、教員への授業支援等を行う学校司書を全小・中学校66校に配置します。

平成21年度から公募により採用選考を行い、平成24年1月1日現在、中学校全23校と小学校21校に配置しています。平成24年度は、さらに小学校22校に配置する予定で、これをもって、全ての区立小・中学校に学校司書を配置することになります。

上記予算以外に、緊急雇用創出臨時特例交付金事業も活用します。

【問合せ先】教育委員会事務局 教育人事企画課 3312-2111(内線1651)



適応指導教室の開設(736万円)

不登校児童の居場所として、小学生を対象とした適応指導教室を新たに設置します。従来の中学生を対象とした2箇所の適応指導教室と合わせて運営していきます。一人ひとりの状況に応じ、個別の支援と集団の支援の両面から児童をサポートしていきます。

- ・設置場所 区立中央図書館内(荻窪3-40-23)
- ・定員 20名(予定)



【問合せ先】済美教育センター 教育支援担当課 3311-1921

～ 80周年を元気で活力ある杉並区のスタートに

6 区制施行80周年記念の事業

区制80周年記念事業

昭和7年10月1日、和田堀町・杉並町・井荻町・高井戸町が合併して杉並区が誕生し、平成24年10月1日に杉並区は区制施行80周年を迎えます。それを記念して、区制施行80周年記念事業を実施します。

記念事業は、未来に向けて「杉並(まち)」の魅力を高めていく第一歩となるものとし、つながり(絆)やみんなで築いた歴史を大切にすることをコンセプトに実施します。

・区制施行80周年記念式典等(2,433万円)

- ・区制施行80周年記念式典
平成24年10月1日(月)杉並公会堂
- ・交流都市を招聘した記念イベントなどの記念事業

【問合せ先】政策経営部 総務課 3312-2111(内線1431)

・健康長寿モニター事業(800万円)

区制施行とともに歩みを始めた80歳の区民を対象として、生活・健康等の調査・分析を行い、また、モニターを募集し、どのようにすこやかな生活を継続できるかの分析を行います。調査・分析の結果は、今後、より効果的な区の健康長寿の施策につなげる基礎資料として活用していきます。

- ・平成24年度 長寿健康調査の実施



【問合せ先】保健福祉部 管理課 3312-2111(内線1341)

・スポーツ交流事業(600万円)

杉並区と交流のある自治体の中学生との親善野球大会を行います。

平成23年度に交流を深めた台湾台北市・桃園県、福島県南相馬市のほか、交流自治体である韓国瑞草区等と、杉並区においてスポーツ交流事業を実施することにより、杉並区の中学生の健全なスポーツ精神を培うとともに、異文化理解・国際理解を深める契機とします。

・「交流自治体中学生親善野球大会」

開催時期：平成24年10月

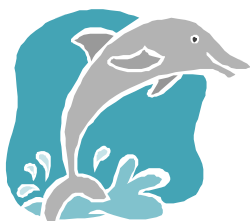
参加団体：杉並区ほか4自治体(150人程度)

【問合せ先】教育委員会事務局 社会教育スポーツ課 3312-2111(内線1661)



・中学生小笠原自然体験交流(650万円)

生徒が主体的に行う環境保全への取組を一層充実させるため、各中学校で推進役となる生徒を、世界自然遺産である小笠原諸島に派遣します。この自然体験交流を通して、持続可能な社会を考えることのできる生徒を育てます。



・対象 区内在住中学生

・実施時期 平成24年夏(5泊6日 内船中泊2日)

・参加人数 30名程度(予定)

【問合せ先】済美教育センター 3311-0021

その他の事業

目標1 災害に強く安全・安心に暮らせるまち 18

災害に強い防災まちづくり	木造密集地域の解消対策の推進 耐震改修の促進
減災の視点に立った防災対策の推進	区施設の改修・改良工事 区役所本庁舎施設整備 防災意識の高揚 防災施設の整備 災害時要援護者支援対策 災害用医薬品・医療資材の管理
安全・安心の地域社会づくり	防犯対策の推進

目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち 22

利便性の高い快適な都市基盤の整備	鉄道連続立体交差の推進
良好な住環境の整備	まちづくり施策の総合的推進
魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり	多心型まちづくりの推進
地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興	商店街支援 アニメの振興と活用 農業の支援・育成

目標3 みどり豊かな環境にやさしいまち 24

水とみどりのネットワーク形成	公園等の整備 みどりを育てる みどりを守る
再生可能エネルギーを活用した住宅都市づくり	(仮称)地域エネルギービジョンの策定・推進 再生可能エネルギーの普及・促進
ごみの減量と資源化の推進	ごみ減量運動 リサイクル活動の支援
環境を大切にする生活スタイルの促進	省エネルギー対策の推進

目標4 健康長寿と支えあいのまち 27

いきいきと暮らせる健康づくり	がん対策の推進
地域医療体制の整備	救命救急体制の充実
健康危機管理の推進	放射能対策
高齢者のいきがい活動の支援	長寿応援ポイント事業

高齢者の在宅サービスの充実

高齢者保健福祉施策の推進
高齢者の見守りサービスの充実
在宅療養支援体制の充実

障害者の社会参加と就労機会の充実

障害者地域生活支援事業

障害者の地域生活支援の充実

障害者のグループホーム・ケアホーム等の確保

支えあいとセーフティネットの整備

ユニバーサルデザインのまちづくり推進

目標5 人を育み共につながる心豊かなまち 31

安心して子どもを産み育てられる環境づくり

母子に関する相談・講座等
安心して妊娠・出産できる環境づくり
子育てセーフティネットの強化（子ども家庭支援センター相談事業・児童虐待対策の取組）

保育の充実

待機児童対策の推進

子ども・青少年の育成支援の充実

学童クラブの整備

障害児援護の充実、成長・発達に応じたきめ細かな教育の推進

発達障害児の支援
教育相談等の運営の充実
特別支援教育（障害児教育）の充実

生涯の基盤を育む質の高い教育の推進

小・中学校教育への支援の拡充
就学前教育の推進

学校教育環境の整備・充実

学校支援教職員
区立小中学校の改築
統合校の施設整備
小中一貫校の施設整備

地域と共にある学校づくり

新しい学校づくりの推進
地域運営学校等の推進

学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり

調べ学習支援の強化
（仮称）スポーツ推進計画
体育施設の整備

文化・芸術の振興

文化・芸術の振興

交流と平和、男女共同参画の推進

国際・国内交流の推進

地域住民活動の支援と地域人材の育成

地域住民活動の支援
NPO等の活動支援
高井戸地域区民センターの改修

基本構想を実現するために

. 40
「（仮称）基本構想実現のための区民懇談会」の設置及び「（仮称）施設再編整備計画」の策定
公有地の活用推進
区政経営改革の推進

目標1 災害に強く安全・安心に暮らせるまち

<災害に強い防災まちづくり>

木造密集地域の解消対策の推進（1億4,400万円）

地震に強い安全なまちをつくるため、建築物の耐震化や不燃化、共同化建替に向けた支援・誘導を推進するとともに道路・公園等の整備を進め、木造密集地域の解消に努めます。



阿佐谷南・高円寺南地区防災まちづくり

- ・優先整備路線拡幅整備 82m²、不燃化建替助成 11棟

【問合せ先】都市整備部 まちづくり推進課 3312-2111（内線3361）

耐震改修の促進（6億6,083万円）

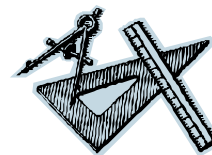
杉並区耐震改修促進計画に基づき、区立施設を含む区内の建築物の耐震化を進め、区内の住宅・建築物の耐震診断・改修を促進し、耐震改修工事費の一部を助成します。併せて、地震発生時において緊急輸送道路等に係る沿道建築物の倒壊による道路の閉塞を防ぎ、避難路及び輸送路を確保するため、広域的な特定緊急輸送道路も含め沿道建築物の耐震化を促進します。

- ・耐震診断支援 800件
- ・耐震改修助成 170件



【問合せ先】都市整備部 建築課 3312-2111（内線3321）

<減災の視点に立った防災対策の推進>



区施設の改修・改良工事（5億7,500万円）

区施設の修繕計画の作成と設計及び工事を行うとともに、施設利用に応じた機能性や安全性を高める改良工事を行います。首都直下地震等に備え、災害時に震災救援所などの活動拠点となる区立施設3施設（西荻地域区民センター、杉並保健所、高円寺体育館）について、自家発電設備等の設置工事を行います。

【問合せ先】政策経営部 営繕課 3312-2111（内線 1551）

区役所本庁舎施設整備（2億7,765万円）

老朽化した区役所本庁舎のコージェネレーションシステムの更新を行い、空調熱源機器の改修工事と自家発電の安定供給に向けた取組を行います。

コージェネレーションシステム

ガスエンジンで発電する一方、その排熱を利用して給湯・空調などの熱源をまかなうシステム

【問合せ先】政策経営部 営繕課 3312-2111（内線 1551）

防災意識の高揚（6,365万円）

地域の自主的な防災活動を支援し、消火設備を整備するとともに、各種の防災訓練を様々な形態・形式で実施します。また、災害時の拠点となる震災救援所の実効性を高めるため、震災救援所運営連絡会の充実を図ります。

- ・初期消火設備の充実

 - D1級ポンプの入替15台、大型消火器の入替52台

- ・防災訓練の充実

 - 総合震災訓練、震災救援所訓練、職員防災訓練の実施

- ・震災救援所運営連絡会の充実

【問合せ先】政策経営部 防災課 3312-2111（内線 3606）



防災施設の整備（1億4,750万円）

首都直下地震等に備え、災害備蓄倉庫を整備するとともに、救援物資や救助用資器材などの備蓄品の購入・入替を計画的に進めます。

- ・災害備蓄倉庫の移転改築
移転改築工事中の（仮称）大宮前体育館に災害備蓄倉庫を併設します。
- ・備蓄品の整備
震災救援所補助・代替施設である区内の都立高校・私立高校・大学等22校のうち11校に備蓄品を整備します。

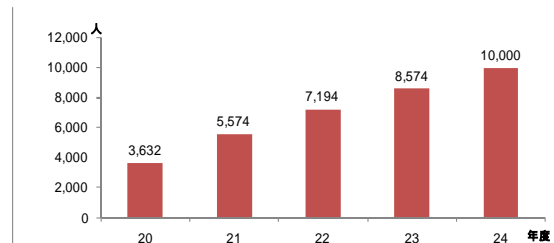
【問合せ先】政策経営部 防災課 3312-2111（内線 3606）

災害時要援護者支援対策（2,844万円）

災害時に援護を必要とする方の「地域のたすけあいネットワーク(地域の手)」の登録を促進し、高齢者・障害者の入所・通所施設と協定を締結し、災害時の受入施設となる福祉救援所を拡充します。また、高齢者のみ世帯や障害者手帳をお持ちの方などを対象に、家具転倒防止器具の設置をします。

【災害時要援護者登録者数の推移】

23年度は23年12月現在



【問合せ先】保健福祉部 管理課 3312-2111（内線 1341）
障害者施策課 3312-2111（内線 1141）
高齢者在宅支援課 3312-2111（内線 3261）

災害用医薬品・医療資材の管理（6,540万円）

災害用医薬品・医療資材の滅菌・入替を行うとともに、災害時に拠点となる医療施設等への自家発電設備の整備支援を行います。

災害拠点病院等への自家発電設備の整備支援は、3施設予定



【問合せ先】 杉並保健所 地域保健課 3391-1355

<安全・安心の地域社会づくり>

防犯対策の推進（7,653万円）



まちの防犯対策の一層の強化を図るため、地域の防犯活動の拠点となる「巡回安全パトロールステーション」を3か所増設します（計6か所）。落書き消去活動に取り組むことより、犯罪の起きにくい地域づくりを目指します。また、駅周辺をはじめとして、街角防犯カメラを増設します。

【問合せ先】 政策経営部 危機管理対策課 3312-2111（内線 1585）

目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち

< 利便性の高い快適な都市基盤の整備 >

鉄道連続立体交差の推進 (1,415万円)



踏切による交通渋滞や事故、鉄道による地域分断の解消など、安全・便利なまちづくりに向けて鉄道連続立体交差事業の推進に取り組むとともに、住民と協働して沿線のまちづくりを進めます。

【問合せ先】都市整備部 鉄道立体担当 3312-2111 (内線 3511)

< 良好な住環境の整備 >

まちづくり施策の総合的推進 (1,048万円)

新たな基本構想の下に「まちづくり基本方針(都市計画マスタープラン)」を改定し、地域特性に応じた良好な住環境の保全・形成や利便性が高く安全・安心で暮らしやすい、魅力あふれる質の高い都市空間づくりを区民、事業者との協働により進めていきます。

【問合せ先】都市整備部 都市計画課 3312-2111 (内線 3501)

< 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり >

多心型まちづくりの推進 (477万円)



交通拠点である駅を中心に、それぞれの地域特性を活かしたコンパクトなまちづくりを計画的に進めることで、商業・業務の活性化や生活利便性の向上を図り、にぎわいと多彩な魅力あるまちづくりを進めます。

【問合せ先】都市整備部 地区整備担当課 3312-2111 (内線 3371)

< 地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興 >

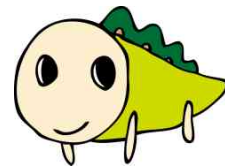
商店街支援（3億1,282万円）

防犯カメラや装飾灯LED化等の環境整備助成により、地域住民が安全に買い物ができる商店街環境を整備するとともに、イベント助成や観光事業等により地域ににぎわいをもたらす商店街の創出を図ります。加えて、地域特性に応じた商店街の活動を促進するため、例えば高齢者の生活を支えるような商店街事業などを支援します。

また、区内経済は依然、厳しい状況が続いていることから、緊急経済対策の一環として、商店街振興組合連合会が発行するプレミアム付区内共通商品券（なみすけ商品券）の発行を引き続き支援します。

【問合せ先】区民生活部 産業振興課 3312-2111（内線 3071）

アニメの振興と活用（6,489万円）



これまでのアニメ振興策に加え、アニメを活用した商店街の活性化、まちのにぎわい創出等について具体策を検討します。また、区公式アニメキャラクターの「なみすけ」を、コミュニケーションツールとしてさらなる活用を図ります。

【問合せ先】区民生活部 産業振興課 3312-2111（内線 3071）

農業の支援・育成（643万円）



営農を継続していくための「施設」や「生産基盤」の整備等、実効性の高い支援策を検討します。また、食の安全や環境に対する区民意識向上を受けて、農業者・農業団体と協働し、区内農産物の地産地消事業を推進します。

【問合せ先】区民生活部 産業振興課 3312-2111（内線 3071）

目標3 みどり豊かな環境にやさしいまち

<水とみどりのネットワーク形成>

公園等の整備(405万円)



公園や緑地の整備を進め、水とみどりのネットワークの拠点となる多様なオープンスペースを創り、みどりの総量を増やします。地域や規模ごとに機能を分散しながら、身近に公園を適切に配置し、まちのみどりの確保と防災性の向上を図ります。

- ・久我山中央緑地(578.15㎡)の拡張整備

【問合せ先】都市整備部 みどり公園課 3312-2111(内線 3571)

みどりを育てる (3,649万円)

杉並区内の緑を育てるため、みどりの実態調査を行うとともに、屋敷林等の保全について検討を進めます。また、新たにみどりの顕彰を実施します。

【問合せ先】都市整備部 みどり公園課 3312-2111(内線 3571)

みどりを守る (5,439万円)

杉並区内には幹回り120cm以上の樹木が約22,000本あり(平成19年度みどりの実態調査より)、これからも、保護樹木や保護樹林などの保護指定制度により、区内のみどりを保全していきます。

- ・保護樹木 1,764本
- ・保護樹林 466,323.65㎡
(平成23年3月31日現在)



【問合せ先】都市整備部 みどり公園課 3312-2111(内線 3571)

<再生可能エネルギーを活用した住宅都市づくり>

(仮称)地域エネルギービジョンの策定・推進 (186万円)

地域における電力、エネルギー対策を効果的に進めていくため、再生可能エネルギーの普及や省エネルギーへの取組のあり方など、地域エネルギー対策の基本指針として、「(仮称)地域エネルギービジョン」を策定します。

【問合せ先】環境清掃部 環境都市推進課 3312-2111 (内線 3731)

再生可能エネルギーの普及・促進 (6,057万円)

地域におけるエネルギー自給率の向上を図り、区民・事業者の再生可能エネルギー導入促進の取組を一層支援するため、住宅都市に適した太陽光発電システムの導入助成について拡充します。



【問合せ先】環境清掃部 環境都市推進課 3312-2111 (内線 3731)

<ごみの減量と資源化の推進>

ごみ減量運動 (1,923万円)



区民・事業者・区が、ごみ減量の目標を共有し、それぞれの役割分担のもとで、ごみの発生抑制、再利用に努め、ごみの減量を進めるため、普及・啓発を図ります。

【問合せ先】環境清掃部 清掃管理課 3312-2111 (内線 3721)
杉並清掃事務所 3392-7281

リサイクル活動の支援（5,232万円）



区民の自主的なリサイクル活動を支援することにより、地域コミュニティを醸成するとともに、区民の資源化や環境に対する意識を高め、良質な資源の回収を安定的に進めていきます。

・実施団体数 380団体、 集団回収量 6,457トン

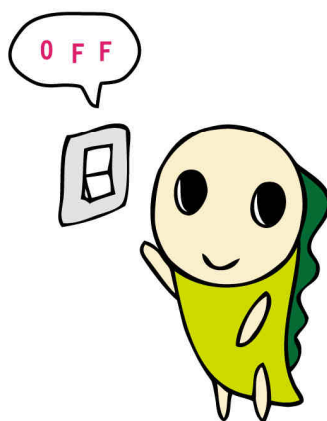
【問合せ先】環境清掃部 清掃管理課 3312-2111（内線 3721）

<環境を大切にする生活スタイルの促進>

省エネルギー対策の推進（863万円）

区民一人ひとりが電力の重要性を認識し、地球環境の保全や低炭素社会づくりに対する意識が高まるよう、家庭や事業所の省エネルギーへの取組みを引き続き支援します。

【問合せ先】環境清掃部 環境都市推進課 3312-2111（内線 3731）



目標4 健康長寿と支えあいのまち

<いきいきと暮らせる健康づくり>

がん対策の推進 (5億4,093万円)



区民の死亡原因の第1位である「がん」による死亡を減少させるために、戸別にがん検診のお知らせを配付するなど、がん検診の受診率向上を目指します。

また、「(仮称)がん対策推進計画」を策定し、今後さらに総合的ながん対策を推進します。

【問合せ先】 杉並保健所 健康推進課 3391-1015
杉並保健所 地域保健課 3391-1355

<地域医療体制の整備>

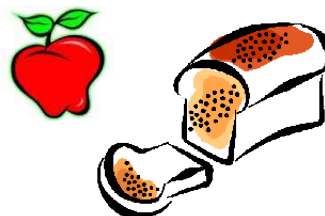
救命救急体制の充実 (6,291万円)

新規開設等を計画している病院が、区民の医療ニーズに的確に応えられるよう協議・調整を行います。また、AEDの配置の充実や救急協力員の養成により、初期救急対応力の向上を図ります。

【問合せ先】 杉並保健所 地域保健課 3391-1355

<健康危機管理の推進>

放射能対策 (555万円)

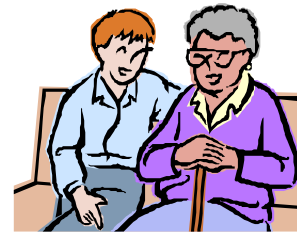


区民の安心を確保するため、空間放射線量の測定や、ゲルマニウム半導体検出器を用いて学校・保育園の給食食材などのセシウム等の放射能濃度を測定し、必要な対策を講じることで、区民の不安解消に努めます。

【問合せ先】 環境清掃部 環境課 3312-2111 (内線 3701)

< 高齢者のいきがい活動の支援 >

長寿応援ポイント事業 (7,923万円)



高齢者がいきいきとした高齢期を過ごし、さらには地域での支えあいにつなげることを目指し、高齢者の活動を応援する「長寿応援ポイント事業」を実施します。活動で付与されるポイントは、高齢者自らのために区内共通商品券と交換するほか、「長寿応援ファンド」へ寄付いただき、地域の支えあい活動等を行う団体への助成に活用します。

【問合せ先】保健福祉部 高齢者施策課 3312-2111 (内線 1161)

< 高齢者の在宅サービスの充実 >

高齢者保健福祉施策の推進 (2,566万円)

高齢者が地域で安心して暮らし続けることができるよう、必要なサービスや情報を提供するほか、在宅での介護が困難な高齢者のための新たな施設整備のあり方を検討します。

- ・ 高齢者のしおり等 (2,001万円)
- ・ 安心おたっしゃ訪問事業 (515万円)
- ・ 新たな特別養護老人ホームの整備のあり方検討 (50万円)



【問合せ先】保健福祉部 高齢者施策課 3312-2111 (内線 1161・3231)
保健福祉部 高齢者在宅支援課 3312-2111 (内線 3271)

高齢者の見守りサービスの充実（1億744万円）

高齢者の孤立化を防ぎ、地域の中で安心して生活ができるよう、地域包括支援センターを拠点とした日常的な見守りを行うほか、配食や機器による見守りサービスなどを充実します。

- ・ 高齢者配食サービス
- ・ 高齢者緊急安全システム



【問合せ先】保健福祉部 高齢者在宅支援課 3312-2111（内線 3261）

在宅療養支援体制の充実（297万円）

在宅医療を必要としている人が適切なサービスが受けられるよう、相談業務の実施や、「在宅医療推進協議会」を中心として、関係機関相互の連携を強化するなど、在宅療養者に対する支援体制を充実します。

【問合せ先】保健福祉部 高齢者在宅支援課 3312-2111（内線 3271）

< 障害者の社会参加と就労機会の充実 >

障害者地域生活支援事業（6億1,568万円）

障害者が抱える課題の解決や障害福祉サービスを適切に利用できるよう、相談支援体制を充実します。また、障害者等の社会参加の場となる「地域活動支援センター」を整備します。



【問合せ先】保健福祉部 障害者生活支援課 3312-2111（内線 2271）
保健福祉部 障害者施策課 3312-2111（内線 1141）

< 障害者の地域生活支援の充実 >

障害者のグループホーム・ケアホーム等の確保

(8 , 3 7 0 万円)

住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、グループホーム・ケアホームを社会福祉法人等と連携して整備します。また、障害特性に応じた住まいのあり方について検討し、指針を定めます。

【問合せ先】保健福祉部 障害者施策課 3312-2111 (内線 1141)

< 支えあいとセーフティネットの整備 >

ユニバーサルデザインのまちづくり推進 (2 7 7 万円)

日常生活や様々な活動への参加に関する情報を、総合的に提供する仕組みを整備します。また、バリアフリー協力店の登録拡大など、バリアフリー情報の提供を進めます。

ユニバーサルデザインとは、あらかじめ、誰もが利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方



【問合せ先】保健福祉部 管理課 3312-2111 (内線 1341)

目標5 人を育み共につながる心豊かなまち

<安心して子どもを産み育てられる環境づくり>

母子に関する相談・講座等 (3,347万円)



妊娠・出産・育児に関する正しい知識の普及や相談・指導を行い、保護者の心身の安定や育児不安を解消して、地域で安心して育児ができるように支援します。

- ・すこやか赤ちゃん訪問の実施
- ・発達障害を早期に発見するため、「あそびのグループ」の実施

【問合せ先】杉並保健所 健康推進課 3391-1015

安心して妊娠・出産できる環境づくり (3,619万円)

経済的負担の大きい特定不妊治療にかかる費用の一部を助成するとともに、不妊相談体制を整備します。

また、産科医・産科医療機関への支援を通じて、区内で安心して妊娠・出産できる環境づくりを行います。

- ・特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）にかかる費用の一部助成
- ・診療所や助産院に勤務する産科医や助産師に、分娩手当を支給
- ・有床診療所等を新規開設や増床する場合の助成



【問合せ先】杉並保健所 地域保健課 3391-1355
健康推進課 3391-1015

子育てセーフティネットの強化

子ども家庭支援センター相談事業・児童虐待対策の取組

(2,619万円)

子どもと家庭の総合相談窓口「ゆうライン」を運営し、福祉・保健・医療・教育分野と連携しながら、子育て相談・虐待問題などについてきめ細かく対応します。

また、要支援家庭への早期対応により、児童虐待の未然防止の強化に努めます。



【問合せ先】保健福祉部 子育て支援課 3312-2111(内線 1361)

<保育の充実>

待機児童対策の推進 (21億1,513万円)

保育園入所待機児童を解消するため、認可保育園を新設するとともに、認証保育所や家庭福祉員の拡充を図り、保育施設の整備を進めます。

- ・ 私立認可保育園の新設1園
- ・ 保育室から認可保育園への移行1園
- ・ 認証保育所の運営(既存18か所、新設2か所)
- ・ 家庭福祉員の拡充(既存20名、新規6名) など

【問合せ先】保健福祉部 保育課 3312-2111(内線 1371)



<子ども・青少年の育成支援の充実>

学童クラブの整備（４，９７１万円）



働きながら安心して子育てができるよう、増大する学童保育の需要を踏まえて、学童クラブを整備します。

- ・阿佐谷南学童クラブの整備（定員１００名（予定））
- ・（仮称）宮前第二学童クラブの整備（定員６０名（予定））

【問合せ先】保健福祉部 児童青少年課 3393-4760

<障害児援護の充実、成長・発達に応じた きめ細かな教育の推進>

発達障害児の支援（３，８５６万円）

社会性やコミュニケーション面の発達に心配のある子どもに対し、医師や心理職などの専門職による個別相談やグループ指導を実施します。

【問合せ先】保健福祉部 障害者施策課 3312-2111（内線 1141）

教育相談等の運営の充実（３，３０６万円）

- ・来所教育相談を拡充します。
- ・学齢期児童の発達障害支援事業を充実します。



【問合せ先】済美教育センター 教育支援担当 3311-1921

特別支援教育(障害児教育)の充実(1億1,757万円)

- ・小学校の情緒障害(通級)学級を1学級増設します。
- ・心理士、退職校長等で構成される「教育支援チーム」による小中学校巡回相談を充実します。



【問合せ先】 済美教育センター 教育支援担当 3311-1921

<生涯の基盤を育む質の高い教育の推進>

小・中学校教育への支援の拡充(9,431万円)

- ・小中一貫教育の学習プログラムや教材を作成します。
- ・中学校夏季パワーアップ教室への支援を行います。
- ・中学校に武道指導員を派遣し、安全確保と事故防止に努めます。
- ・震災時対応マニュアルの作成など、防災教育を充実します。



【問合せ先】 済美教育センター 3311-0021

就学前教育の推進(126万円)

就学前の幼児の発達段階に応じた成長のための支援を総合的に進め、小学校に続く「学びの連続性を重視した教育」を推進します。

- ・「(仮称)就学前教育振興ビジョン」の策定
- ・「(仮称)幼保小連携カリキュラム」の策定

【問合せ先】 済美教育センター 3311-0021
保健福祉部 子供園担当 3312-2111(内線1301)

< 学校教育環境の整備・充実 >

学校支援教職員 (7,254万円)

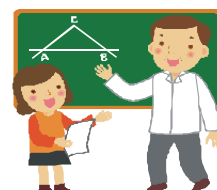
一人ひとりに応じたきめ細かな教育を推進するため、非常勤の教職員(補助教員、理科支援員、学習支援教員)の充実を図ります。

【問合せ先】教育委員会事務局 教育人事企画課 3312-2111(内線 1651)

区立小中学校の改築

高井戸第二小学校の改築 (10億897万円)

井草中学校の改築 (5億3,375万円)



〔高井戸第二小学校〕

平成23年度の仮設校舎竣工に引き続き、改築期間中の代替校庭整備や既存校舎解体の後、新校舎の建設に着手し、平成26年度の学校施設の耐震化事業の完了を目指します。

〔井草中学校〕

平成23年度の屋内運動場及び普通教室・特別教室棟の竣工に引き続き、特別支援学級棟の建設を完了させます。また、特別支援学級棟竣工後の仮設校舎解体と校庭整備をもって、井草中学校の耐震改築事業は完了となります。

【問合せ先】教育委員会事務局 学校適正配置担当課 3312-2111(内線 1681)

統合校の施設整備 (7億7,166万円)



平成25年4月の永福南小学校と永福小学校の統合に向けて、平成23年度に着工した屋内運動場棟建設の竣工を目指すとともに、永福小学校既存校舎の改修を行います。

【問合せ先】教育委員会事務局 学校適正配置担当課 3312-2111(内線 1681)

小中一貫校の施設整備

小中一貫校の施設整備(小学校費) (4,703万円)

小中一貫校の施設整備(中学校費) (4,703万円)

新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合による平成27年4月の施設一体型小中一貫教育校の開校に向けて、実施設計を進めます。

【問合せ先】教育委員会事務局 学校適正配置担当課 3312-2111(内線 1681)

< 地域と共にある学校づくり >

新しい学校づくりの推進 (441万円)



学校の適正規模を確保し、子どもたちに望ましい教育環境を提供していくため、将来にわたる児童・生徒数の動向等を見据え、地域ごとの状況に応じて学校の統合等を行うなど、新しい学校づくりを推進していきます。

【問合せ先】教育委員会事務局 学校適正配置担当課 3312-2111(内線 1681)

地域運営学校等の推進 (2,661万円)



保護者や地域住民等が、「学校運営協議会」を通じて、学校運営に参画する「地域運営学校(コミュニティ・スクール)」を設置し、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりを目指します。

【問合せ先】教育委員会事務局 教育改革推進課 3312-2111(内線 1641)

< 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり >

調べ学習支援の強化 (171万円)

図書を使った授業を支援するため、図書館の調べ学習資料の充実を図ります。

また、ボランティアとの協働による調べ学習室の運営や、調べる学習賞コンクールの実施等、児童・生徒の調べ学習の支援を通じて、本に接する機会を増やし、子どもの読書活動の推進につなげます。



【問合せ先】中央図書館 3391-4800

(仮称)スポーツ推進計画 (428万円)

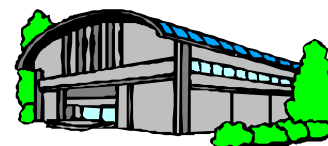
多様化する区民ニーズやスポーツ環境の変化を踏まえ、生涯にわたり区民が自主的、継続的にスポーツに親しむことができるよう、「(仮称)スポーツ推進計画」を策定します。

【問合せ先】教育委員会事務局 社会教育スポーツ課 3312-2111(内線 1661)

体育施設の整備

大宮前体育館の移転改築 (7億133万円)

妙正寺体育館の改築 (1,960万円)



スポーツの多様化に対応するとともに、地域スポーツ活動を振興するため、大宮前体育館を旧荻窪小学校の跡地に移転改築します。

また、老朽化した妙正寺体育館について、改築に向けた調査及び設計に着手します。

【問合せ先】教育委員会事務局 社会教育スポーツ課 3312-2111(内線 1661)

< 文化・芸術の振興 >

文化・芸術の振興 (5,849万円)



区の文化・芸術活動の振興を図るため、「(仮称)文化・芸術振興審議会」を設置・運営するとともに、区民の多様な文化活動や創造的な芸術活動を支援します。

また、情報紙の発行など、文化・芸術活動に関する情報の収集・発信を効果的に行います。

【問合せ先】区民生活部 文化・交流課 3312-2111 (内線 1691)

< 交流と平和、男女共同参画の推進 >

国際・国内交流の推進 (744万円)

〔国内交流の推進〕

国内の交流自治体の関係者を一同に集めた「交流自治体円卓会議」を実施するなど、国内交流都市との教育・文化・経済・スポーツ等の交流を推進していきます。

〔国際交流の推進〕

在住外国人支援に向けた検討を行い、様々な事業を推進するとともに、国際友好都市との国際交流を推進していきます。

【問合せ先】区民生活部 文化・交流課 3312-2111 (内線 1691)



< 地域住民活動の支援と地域人材の育成 >

地域住民活動の支援 (1億2,917万円)



町会・自治会の活動支援や地域情報の交換・発信のための掲示板整備への支援を通して、住民相互のふれあいと交流を創出し、活力ある住み良いコミュニティの形成を図ります。

(主な施策)

- ・町会・自治会掲示板の設置助成 平成24年度助成件数 100基
- ・地域活性化事業の助成 平成24年度助成対象 15町会

【問合せ先】区民生活部 地域課 3312-2111 (内線 3761)

NPO等の活動支援 (4,398万円)



NPO等の活動支援を進めるとともに、区民やNPO、地域団体等が相互に連携・協力して活動していくための環境を整備していきます。

(主な施策)

- ・協働推進課を設置し、協働推進に全庁的に取り組むための体制を整備
- ・新基本構想に基づく新たな協働のあり方の検討
- ・NPO支援基金の積立て・運営等

【問合せ先】区民生活部 すぎなみ地域大学担当課 3312-2381

高井戸地域区民センターの改修 (5億1,151万円)

平成24年4月27日に改修工事が竣工し、5月7日から改修後の施設で運営を再開します(併設施設:高齢者活動支援センター、ひととき保育高井戸、高井戸温水プール)。区民のコミュニティ活動の場として、なお一層親しまれる施設を目指します。

【問合せ先】区民生活部 地域課 3312-2111 (内線 3761)

～杉並の未来に向けて～

基本構想を実現するために

「(仮称)基本構想実現のための区民懇談会」の設置 及び
「(仮称)施設再編整備計画」の策定(200万円)

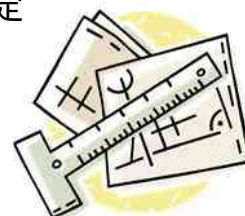
基本構想と総合計画の達成度、進捗状況を区民と共に確認しながら、基本構想の実現に取り組むため、「(仮称)基本構想実現のための区民懇談会」を開催します。

また、多くの区立施設が更新時期を迎える中で、施設の効率的運用や区民の利便性向上、まちの活性化を図るため、「(仮称)施設再編整備計画」を策定します。

スケジュール

平成24年4月～ (仮称)施設再編整備計画の検討

平成25年3月 (仮称)施設再編整備計画の策定



公有地の活用推進 (50万円)

区・都・国で構成する「まちづくり連絡会議」において区内の公有地の有効活用に向けた調査研究を進め、その結果を「(仮称)施設再編整備計画」などに反映させていきます。

区政経営改革の推進 (456万円)

今後とも厳しい財政状況が続くことが予測される中であっても、必要な区民サービスを提供することができる行財政運営のあり方を検討し、取組みを進めるため、「(仮称)行財政改革に関する懇談会」を設置します。

(仮称)行財政改革に関する懇談会検討スケジュール 24年度中



【問合せ先】 政策経営部 企画課 3312-2111 (内線 1411)